

第四十五回  
帝國議會  
貴族院

# 破產法案外一件特別委員會議事速記錄第一號

付託議案  
和議法案  
委員氏名

和議法案  
委員氏名

委員長 伯爵松平 賴壽君  
副委員長 河村 讓三郎君

子爵酒井  
子爵伊東  
子爵板倉  
公室

男爵若王子

男爵矢吹  
藤田

橋本加太

鈴木

日)午後一時八分開會  
ヨリ特別委員會ノ破產

順序ト致シマシテ、政府

申體大於二議會本版

二其調查委員會、即

案が出来上リマシテ起  
ト云フヤウナ議論ガアッ

法典、殊ニ商法ハ全部  
リマス、元ノ案ト商法ト

員會ニ於キマシテ、調査  
籍法ノ制定、或ハ民事

ニ於ケル調査委員ノ先

マシタ、其爲ニ此破産法  
ウナ次第アリマス、大

貴族院破產法案外 一件特別委員會議事速記錄第一號

大正十一年一月二十七日

正三年ヨリ愈、今度ノ案ノ起案ニ着手シタヤウナ次第テアリマス、出來マシタ案ハ、前ノ案ニ較ベマスト云フト、大體ノ趣意ニ於テ違フコトハアリマセヌガ、各條異シテ居ル次第アリマス、サウシテ之ヲ現行破産法ニ較ヘマスト、破産法ノ修正ト云フヨリハ、全ク別ノ法律、別ノ法案ト言テ差支ナシ、第一其體裁ニ於キマシテモ、一ハ商法ノ一部デアリ、是ハ商法ト離レテ民事商事ニ通ズル所ノ一ツノ特別ノ法律トシテ、獨立ノ制定ヲ爲シテ居ル次第デアリマス、サウ云フ次第デアリマスカラ、修正案ト云フヨリハ寧ロ是ハ新立法案ト云フコトニ御考ヲ願ヒタイノデアリマス、從テ其條文ノ類モ大分違ヒマス、規定シテ居ル事柄モ數ニ於テ大分違フノミナラズ、其主義ニ於テ餘ホド異タル重要ナル點ガ澤山アル、先づ重モナル違タ點ニ付テ申シマスト、現行ノ破産法ハ御承知ノ通りニ商人ニ對スル一ツノ法律デアル、商賣人、即チ商法ノ所謂商人ニ對シテ破産ノ宣告ヲスルダケデアリマシテ、所謂商人主義ト云フコトニ稱ヘラレテ居ル、尤モ商法改正ノ結果商人ナラサル、例へハ炭礦會社ト云フヤウナ、生産會社ニモ適用サレルコトニハナツテ居リマスケレドモ、大體商人ノ關係ニ於テ破産法ハ適用サレルコトニナツテ居ル、此案ハ商人ト非商人トヲ區別セズシテ、商人デアル者モ、商人デナシ者モ、總テ破産狀態ニ陥ル者ニ付テ破産ノ宣告ヲシ、其他破産法案ノ規定ヲ適用スルコトニナルノデアリマス、即チ假ニ言葉ヲ定メマスト、一般破産主義トデモ申シテ宜カラウカト思ヒマス、是ガ一ツノ重要ナル點トナル、ソレカラモウ一ツハ、此現行ノ破産法ニ於キマシテ、此破産財團、即チ破産ニ依テ押ヘラレ、債權者ニ分配スベキ財產ハ、破産者ノ所有財產金般、即チ破産宣告ヲ受ケ後ニ破産者ガ或ハ相續ヲシタトカ、或ハ其他ノ理由ニ依ス取得シマシタ財產モ、是モ破産財團ニ這入ルコトナツテ居ル、處ガ此案ハ破産ノ宣告スル其時ニ於テ破産者ニ屬スル財產ガ、破産者ノ破産宣告ヲ受ケル時ニ持ツテ居タ財產ダケガ破産財團ニナル、爾後破産者ガ相續ニ依テ、重モニ相續デス、或ハ贈與ヲ受ケテ取得シタル財產等ガアズモ、ソレハ破産財團ニ入レズシテ、破産手續ノ外デ處分スル、即チ破産財團ガ一ハ限定サレテ居ルニ拘ラズ、現行法ノ方ハ限定サレナイヤウニ、書籍ノ説明ニ依ル所謂膨脹主義、破産財團ハ宣告日膨脹スル即チ膨脹主義ト云フコト、固定主義、破産宣告當時ニ固定シテ居ル、斯ウ云フ言葉デ兩立法ヲ比較説明シテ居ルヤウナ次第アリマス、是ガ其第二ノ重モナル點ナル、最モ大ナ

ハ黒テ申シマスルト、サウ云フコトアリマスルが更ニ現行法ニ全ク無イト言ヒマスカ、不明ト言ヒマスカ、或ハ不明デアルト言フ説ト、全クサウ云フコトハ規定シテ無イト云フコトニ説明シテ居ル人モアリマスガ、此相續ノ場合ニ、相續人ガ先代カラ承繼グ、即チ相續財產、此ノ相續財產ト云フモノハ、其被相續人ノ死去當時ニ於ケル所ノ財產、其財產ニ付テハ先代時代ノ債權者ト云フ者ガ居ツテ、相續前ノコトデアレバ、債權者ハ皆先代ノ債權者デアル、其ノ相續財產ハ、相續が起シタ時ニ相續人ノ他ノ財產カラ引離シテ、之ヲ一ツノ財產トシテ、此ノ相續財產ハ恰モ通常ノ人デアルガ如クアリマス、此取扱ツテ、之ニ對シテ破産ノ宣告ヲスルト云フコトガ、即チ相續財產ノ破産ト云フコトガ、少ナクトモ此案ニ於テハ明確ニ之ヲ規定スルト云フコトニナッテ居ル、サウ云フ點ニ於テマソメ大キナモノト申シマスト、サウ云フ點デアリマス、其外ア最モ大キナモノト申シマスト、サウ云フ點デアリマス、此現行法ニ於テ、極メテ僅カノ條文ハ殆ド規定シテ有ルカ無イカ分ラヌ、或ハ規定シテ有ラテモ、解釋スルノニ全ク因ツテシマフヤウナ、不備ナ規定バカリニナッテ居ルゾレ等ノ點ニ付テ、此案デハ章ヲ設ケマシテ、第一ニ此ノ破産財團ト言フモノハドウ云フモノデアルカト云フコトヲ明カニ致シタ、第二ニ破産債權、即チ破産手續キニ依ル破産者ノ財產、即チ破産財團カラ辨済ヲ受ケルコトノ出來ル債權者ハ、如何ナル債權者デアルカ、言ヒ換ヘレバ、破産債權者ト云フ者ハドウ云フ者デアルカト云フコトヲ、之ヲ明カニスルト云フノデ、又一章ヲ置イテアル、大體ノ趣意ハ此ノ破産債權ニ付テ現行法ノ破産債權者ト、此案ノ破産債權者トノ間ニ於テ、解釋スル人ハ多ク區別ハナイ、斯ウ云フ風ニ現行法ハ解釋ヲ致シテ居リマスケレドモ、法文ニ於テハドウ云フ債權者ガ破産手續ニ加シテ來ルコトガ出來ルノデアルカ、否ヤト云フコトニ付キマシテハ、極メテ不明瞭デアル、中ニハ破産宣告ノ後ニ債權者トナク者モ、矢張リ破産債權者デアルト云フヤウナ解釋ヲシテ居ル人モナイデハナイ、併ナガラ現行法ノ多數ノ解釋トシテハ、破産宣告ノアル迄ニ債權ヲ有シテ居ル者ノミヲ、破産債權者トスルノデアル、爾後ノ債權者ハ破産手續ニ加ヘルコトハ出來ナインオデアルト云フコトニ、大體ノ解釋ハ一致シテ居リマスケレドモ、法文ニ於テハ極メテ是ハ不明ニナックテ居ル、殊ニ前ニ申シマシタ相續財產ニ付テ破産ノ宣告ヲスル時ニ、如何ナル債權者ガ破産債權者トナルノデアルカト云フコト等ニ付テハ、全ク規定ガ曖昧デアル、ソレ等ノ點ニ付テ破産債權者ノ章ニ於テハ、最モ明確ニ詳細ナル規定ヲ

ヨーゼ申上ダマスガ、破産債権者ニハ破産財團ヲ換債シテ、其  
金錢ヲ公平ニ配當ラスル、分配ラスルト云ノガ破産手續アリマス、此ノ財團債權ニ付テハソレトハ全ク異ナル關係ニナシテ、  
財團ガ働ク關係ハ、恰モ破産外ノ關係アルト云フコトカラ茲  
ニ破産債權ト區別シテ財團債權ト云フモト作リマシテ、サ  
ウシテ之ヲ特別ノ取扱ラスル、其點ニ付キマシテモ亦餘程出來  
フモノガ出來ルト云フコトニナルト、破産者ハ自分ノ財產ヲ  
ルダケ詳細ニ規定ヲ設ケタ積リデアリマス、ソレカラ尙ホ此破  
產ニ付テ最モ重大ナル關係ハ、是ハ破産ノ關係カラハ破産  
管財人ト云フモノガ出來ルノデアリマス、破産管財人ト云  
フモノガ出來ルト云フコトニナルト、破産者ハ自分ノ財產ヲ  
或ハ處分ヲシタリ、或ハ自分ニ管理ラスルト云フコトハ全ク異  
出来ナイ、破産管財人ノ手ニ總テノ財產ヲ引揚ゲテ此財  
產ノ管理ラスル、或ハ其財產ヲ處分ラスルト云フコトニナル  
ノデアリマシテ最早破産者ト云フモノハ自己ノ財產ニ付テ  
ハ、殆ド何等ノ權能ヲ持タナイト云フヤウナコトニナル、然ニ  
自分ノ最モ親シイ所ノ債權者ニ竊カニ辨濟ラスル、其他竊  
カニ之ヲ費消スルト云フヤウナコトガ、破産宣告後ニ起リマ  
ニ屬シテ居ル所ノ財產ヲ、破産ノ後ニ竊カニ處分ラスルト  
云フヤウナコトガアル、或ハ之ヲ自分ノ親族ニ與ヘル、或ハ  
一體破産手續ニハ破産財團ヲ完全ニ之ヲ押ヘテ之ヲ出來  
ルタケ有利ニ處分シテ金ニシテ、サウシテ總テノ債權者ニ平  
等ニ分配スル、順位ノ先後ニ從ヒマシテ、公平ナル分配ラス  
ルト云フノガ破産ノ本旨デアリマス、ソレヲ其ノ財產ノ一部  
ノ債權者ニ損害ヲ與ヘルト云フコトハ、即チ破産ノ本旨ヲ  
トカ、或ハ自分ノ近親ノ者ニ與ヘルト云フヤウナコトニナル  
ト、此ニ損害ヲ受ケル者ハ一般ノ債權者デアル、其一般  
ノ債權者ニ損害ヲ與ヘルト云フコトハ、即チ破産ノ本旨ヲ  
破却スルモノデアリマスカラ、ソレデ破産宣告ノ後ニ破産者  
ガ、自己ノ財產即チ破産財團ニ屬シテ居ル所ノ財產ニ付テ  
ハシタ行爲ノ效力ハ如何ニスベキカト云フコトガ、更ニ第五  
章ニ於テ規定シタ次第デアリマス、ソレデ破産宣告ノ後ニ  
破産財團ニ屬スル財產ニ付テ、破産者ノ爲シタ法律行爲  
ハ現行法デハ其效力ナシ、此案ハ破産債權者トノ間ニ付テ  
ハ效力ヲ認メルコトハ出來ナイ、即チ破産財團ヲ保護スル  
範圍内ニ：破産債權者ヲ保護スル範圍内ニ於テ、其法律  
行爲ノ效力ヲ失ハシメルト云フ趣意、是ハ一ツノ根本カ  
ラ申上ゲタノデアリマシテ、要スルニサウニ云フ趣意カラ持シテ  
モノデアルカト云フヤウナコトニ付テ、又澤山ノ條文ヲ列ベ  
テ居リマス、此中ノ内容ニ至リマスト諸般ノ法律行爲ニ付

テノ規程デアリマシテ、是ハ極メテ専門的ニ瓦タ事柄が多  
イノデアリマス、各條ニ付テ申上ダケレバ、或ハ御分リ惡イ  
カモ知レナイト考ヘテ居リマス、一ツ破産宣告後ニ於ケル所  
ノ破産者ノ行爲ト云フモノハ、之ヲ效力ナキモノトスルト云  
フ趣旨デ、破産財團ヲ保護スルト云フノガ根本ノ趣意デ、ソ  
コニ例外ガアル、或法律行爲ニ付テハ又特別ノ規程モアリ  
マスケレドモ、サウ云フモノヲ除キマスレバ、大體五章ノ趣旨  
ハスウ云フコトデアリマス、是ハ即チ破産宣告後ニ破産者  
ガ爲ス所ノ行爲デアリマスガ、破産者ハ破産ノ宣告ヲ受ケ  
ル前ニ財產ヲ隠匿スル、或ハ自分ノ財產ヲ他人ニ處分ヲス  
ルト云フヤウナコトガ、イツデモ行ハレル次第デアリマス、破  
産宣告ヲ受ケル前ニ自分ハ二進モ三進モ行カナクナタカ  
ラ、自分ノ財產ヲ或ハ自分ノ妻ニ與ヘル、或ハ之ヲ費消シテ  
シマフトカ、或ハ他ニ隠スト云フヤウナコトガ行ハレル、是モ  
破産宣告前ノ行爲デアリマスケレドモ、破産債權者ニ破産  
宣告ノ後ニ於テ非常ニ害ヲ與ヘルト云フヤウナコトガ生ジ  
テ、破産ノ宣告ハシタ、然ニ財產ハ總ベテ隠サレテシマッテ、  
債權者ハ何モ得ル物ガ無ニト云フヤウナ結果ヲ生ズルノデ  
アリマス、ソレデアリマスカラ、破産宣告ノ其間際ニシタ云  
フヤウナ事柄ナリ、或ハ特ニ此債權者ニ損害ヲ與ヘル積リ  
テシマフト云フヤウナコトヲ規定致シテ居ルノデアリマス、是  
ガ即チ第六章ノ否認權ト云フ章ノ内容ノ大體デアリマス、  
ソレカラ更ニ第七章ニハ取戻權ト云フコトヲ書イテ居ル、此  
ノ取戻權ハ大體斯ウ云フコトニナル、破産財團ヲ即チ破産  
ニ依テ處分スペキ財產ハ、破産者ノ財產デナケレバナラヌ、  
是ハ前三申シマシタル破産者ガ破産宣告ノ當時ニ於テ有  
シテ居タ財產ダケガ破産財團トナル、即チ管理人ニ依テ押  
ヘラレル所ノ財產、然ニ其財產中ニ他人ノ財產ガ這入ッテ  
居ル、管理人ノ誤リカ惡意ガ、或ハ破産者ノ誤リカ惡意ガ、  
他人ノ財產ヲ破産者ノ財產トシテ之ヲ破産財團ニ入レテ  
置ク、サウ云フトキニハ其ノ破産財團カラ之ヲ引戻ス、是ハ  
此席デハ御承知無イカモ知レマセスガ、強制執行ニ付テモ  
矢張リ斯ウ云フコトガアッテ、他人ノ財產ヲ押ヘルト云フコ  
トガ屢々アル、其時ニハ民事訴訟法ノ中ニ異議ヲ言フト云  
トガ出來ル、其權利ニ付テモ矢張リ諸般ノ關係ニ瓦タテ、數  
箇條ノ規程ヲ設ケテアル、ソレカラ其次ニ申シマスノハ別除  
權ト云フ第八章、是ハ文字ガ矢張リ新シイノデ御分リ惡イ  
カモ知レマセヌガ、事柄ハ簡單ナノデ破産者ノ財產ニ例ヘバ

抵當權ヲ持テ居ル者、即チ質權ヲ持テ居ル者、サウ云フ場合ニサニ破産ノ宣告ガアツテ、其抵當ノ目的ナリ、或ハ質權ノ目的ナリガ破産財團ノ中ニアル是ハ破産者ガ破産ノ宣告ヲ受ケテモ其質權ナリ、抵當權ト云フヤウナ物件ハ、是ハ消滅スル譯デハナイノアリマス、ソレハ破産宣告ガアツテモ、質權或ハ抵當權或ハ其也ノ…民法カラ申シマスト特別擔保、サウ云フモニ屬スル所ノ物件ハ、是ハ其ノ破産債権、一般ノ債權者ニ先ンジテ其抵當ノ目的物質權ノ目的物、其他特別擔保ノ目的物ニ付テ、ソレヲ處分シテ先キニ辨濟ヲ受ケルト云フコトハ、破産宣告アルガ爲ニ妨グラレナイ、サウ云フ人ハ…サウ云フ權利アル者ハ、破産宣告ガアツタ後ニ其財產ニ付テ、特ニ自分ノ權利ヲ優先權ヲ以テ行フコトガ出來ル、併ナガラ其優先權ヲ行フモノモ普通ノ方法ニ依ルノデアリマスガ、全ク通常ノ方法デ行ハシメルト云フコトニナルト、破産手續上不便デアルト云フノデ、此ノ權利ヲ行フコトニ付テモ矢張り破産管財人が加入シテ、或程度マデ參加ヲシテ其權利ヲ行フコトニナル、併ナガラ別除權ト云ヘバ、要スルニ破産手續ニ拘ラズシテ、自分ノ優先權ヲ財產財團カラ行フ權利ノ總稱デアリマス、ソレガ八章ニ總べテ規定シテアル、其次ハ相殺、是ハ矢張リ餘程民法上ノ法律上ノ事柄デアツテ、或ハ御分リ惡イカモ知レマセヌガ、相殺ト云ヘバ言フマデモナク自分ノ債權ト自分ノ債務トヲ差引シテ、以テ計算ヲ濟マスト云フコトデアリマス、普通ノ破産手續ニ依テ破産者ニ對シテ債權ト債務ヲ持テ居ル者ガアルト云フコトニナルト、破産者ノ債權、破産者ノ財產ニ屬スル、ソレハ取立テテ置イテ、ソレカラ破産者ノ債務、即チ破産者ニ債權ノアルモノ、此分ハ普通ノ配當ノ方法ニ依ルト云フノガ普通デアリマス、例ヘバ破産者ガ一万圓ノ債權ヲ持テ居テ、其債務者カ一万圓ノ反對ニ債權ヲ持テ居ル、斯ウスレバ差引スレバ「ゼロ」ニナル、零ニナル、併ナガラ破産手續デ普通ノ通ニシスレバ、此破産者ノ債務者カラハ一万圓取レル、併ナガラ破産者ニ對シテ債權ヲ有シテ居ル者ハ、結局一部分ノ配當ヲ受ケルト云フコトニナシテ、例ヘバ千圓シカ受ケラレナイ、一万圓ヲ拂シテ、サウシテ自分ハ千圓ダケ受ケルト云フコトニナシテ、サウシテ九千圓ハ損部拂ヒ、取ルモノハ一部ノ配當ト云フノハ残酷デアルト云フスルノガ普通ノ事實デアリマス、併ナガランレハ破産者ニ對付テ申シマスト、一万圓ト一万圓ハ相殺ニナシテ、九千圓損ヲセズシテ全部取ルコトガ出來ルト云フ趣意ヲ認メテアル、是ハ現行法モ然リデアル、各國皆然リデアル、之ヲ相殺權ト

シテ第九章ニ掲ゲテアル、是ダクガ即チ民法ナリ、其他ノ法律トノ關係ニ於テ、實體規定トシテ、此ノ破産法案ニ掲ガタノデアリマス、即チ第一編ノ規定ヲ爲スモノデアリマス、先般會議ノトキニ此法案ヲニ一分ツテ其一半ヲ實體規定トナル手續、之ガ即チ手續規定トナシテ、唯今申シマシタノハ即チ第一編ノ實體規定ニ掲ゲマシタ事柄ノ大要ノ説明デアリマス、此案ハ頗ル事ガ法律問題ダケテアリマシテ、而シテ事柄モ専門的ニワタ事柄ガ多イデアリマス、或ハ御分り難イ所ガアラウト思ヒマスクレドモ、尙ホソレ等ノ點ニ付テハ後ニ御質問ニ應ジテ御説明ヲ申上ダマス、第二編ガ手續規定ニナシテ居ル、是モ全ク手續ダケノコトテ、御覽ニナシテモソ寧口乾燥無味ノ法律カモ知レマセヌ、此ノ手續規定ニ付テハ細カイコトヲ申上ダマヌノア、先ツ破産手續ハドウニ云フコトヲスルカト云ヘバ、第一ハ破産ノ宣告ニ始マル、サウシテ破産宣告ヲスルト破産者ノ財産ヲ皆之ヲ差押ヘテ仕舞フ、散逸ヲ防ガク爲ニ管財人ノ手ニ於テ之ヲ押ヘル、必要ナ場合ニハ裁判所ノ手ヲ借りテ之ヲ差押ヘル、斯ウニ云フコトヲトニナルノデアリマス、而シテ其財産ヲ差押ヘタ後ニ更ニスコトベキコトハドウ云フコトデアルト云フト、如何ナル債權者、前調査スルガ爲ニハ債權者ニ其債權ノ届出ヲナサナケレバナラヌ、ソレデ一面ニ債權ノ届出が出来、一面ニ財産ヲ差押ヘル、斯ウニシテ其債權ヲ調査シマシテ、如何ナル債權者ガ破産債權者トシテ権利ヲ行ヘルノデアルカ、又如何ナル順位ニ付テ行ヘルルデアルカト云コトノ調査ヲスル、之ガ茲ニ起ラナケレバナラヌ、其調査ヲスルシテ、茲ニ出來上ツクモノハ何カト云フト、債權ガ幾ラアリマス、財產ガ幾ラアルカ、サウシテ債權者ハドレダケノ権利ヲ行ヘルカト云フコトニナシテ、其債權ヲ標準ト致シマシテ、茲ニ配當ト云フコトヲシナケレバナラヌ、其配當ヲスルニ付テハ、破産財團ニ屬スル財產ヲ之ヲ金錢ニ換ヘナケレバナラヌ、サウシテナルノデアル、而シテ其事ニ當ルノハ破産管財人デアリ序トナルノデアル、而シテ其事ニ當ルノハ破産管財人デアリ

マス、併ナガラ破産管財人ハ誰ノ爲ニ斯ウ云フコトヲスルカト言ヘバ、學問上ノ議論ハ別ニシマシテ、要スルニ一般ノ債權者ノ利益ノ爲ニ、又ハ破産者ノ爲ニ、更ニ社會全體ノ利益ノ爲ニ此事ハスルノデアリマス、然ニ其管財人ト云フ者ガ、若シ債權者全體ノ利益ニ合ハヌヤウナコトヲスルト云フコトニナルト、是ハ宜シクナイト云フ關係カラ、通常ノ強制執行トハ違ヒマシテ、此ノ破産手續ニ於ナハ債權者全般ノ自治ト云フ権利ガ認メラレルノデアリマス、破産ニ關スル事柄ハ、大體債權者ガ相寄シテ之ヲ決スルノヲ以テ最モ強キ力ノアルモノトナル、即チ債權者集會ト云フモノガ茲ニ出來ル、其債權者ノ集會ト云フツツノ組織ヲ茲ニ造ラナケレバナラス、債權者ガ一面ニハ管財人ヲ監督スルノデアリマス、重大ナコトニ付テハ債權者集會デ極メテ挂ラナケレバナラス、配當ノコトニ付テモ債權者調査ノコトニ付テモ、之ヲ結局決スル機關ハ誰デアルカト言ヘバ、債權者ノ集團、即チ債權者集會ノ決議ト云フコトガ、此破産手續ニ於テハ重要ナル一ツニナラナケレバナラヌ、併ナガラ破産債權者集會ノミニ常ニ破産管財人ヲ監督スル、或ハ破産事務ノ調査ヲスル、言ヒ換ヘレバ破産事務ノ監査ヲスルト云フコトニ掛チテハ、其煩ニ堪ヘナイノデアリマスカラ、ソレデ債權者集會ハ自カラ決議ヲスル外ニ委員ヲ組織シマシテ、即チ監査委員ト云フモノノ造ラテ、監査委員ヲシテ破産手續ノ進行ニ付テハ總テ注意ラシ、事務ノ調査ヲスル、或ハ管財人ノ報告ヲ求メルト云フヤウナコトノ監査委員ト云フ者ノ勤キハ大分多イノデアリマス、ソコテ機關トシテ破産管財人ノ外ニ、債權者集會及ビ監査委員ト云フヤウナモノガ茲ニアルノデアル、併ナガラ元々此ノ破産手續ハ、矢張リ廣イ意味ノ強制執行デアル、其公平ヲ維持スルガ爲ニハ裁判所ノ監督ノ下ニ立タナケレバナラス、ソレハ即チ此效力ヲ以テ強制執行ヲスル意味ニ於テ、最モ必要ナル點デアルト云フノデ、各國共裁判所ガ即チ破産裁判所トシテ、破産手續ノ全體ヲ指揮シテ行クノデアリマス、故ニ債權者集會ヲ招集スルノモ破産裁判所デアリマス、管財人ノ行爲ヲ研究監督スルノモ即チ破産裁判所デアリマス、債權者集會ヲ監督スルノモ破産裁判所デアリ、破産管財人ヲ監督シテ行クノモ破産裁判所デアル、換貨ニ付テモ同様デアル、デ裁判所ガ最モ高キ機關トシテ、此破産手續ヲ總テ指揮シテ、研究監督スルノモ即チ破産裁判所デアリマス、債權者集會ヲ監督スルノモ破産裁判所デアル、換價ノコトナリ、配當ノコトナリガ行ハ集會デアル、集會ノ委任ニ依テ監査ノ事務ヲ取扱フノガ管財人デアル、斯ウ云フ機關ノ下ニ、只今中シマシタ行ク、實際ニ當ル者ハ管財人デアル、諸般ノ決議ヲスルモノシレルノデアル、ソコデ破産手續ヲ通常ニ行ヒマスナラバ、唯

今申シマス通りニ債権ノ届出ニ始マテ、其調査、財産ノ差押ヨリ財產ノ換價、而シテ其配當ト云フコトニナルノガ通常デアル、併ナガラ是ハ能ク各國ノ立法ニモ現行法ニモアリマスガ、必ズシモ通常ノ手續ニ依テノミ破産手續ヲ終結スル必要ハナインデアル、債権者全般及ビ債務者トノ間ニ、茲ニ協和ガ出來ルナラバ破産手續ヲ嚴格ニ履行スルコトヲセズシテ、協和ヲ以テ財產整理等ノコトヲスルコトハ一向妨ダナイソコデ、破産手續ハ配當ニ終ルノアリマスケレドモ、配當ヲセズシテ和議ノ途ヲ以テ即チ強制和議ノ方法ヲ以テ、債權者ト債務者間ノ和解契約ヲスルト云フ手續ガ定マルノデアリマス、結局債権者モ讓歩シテ破産手續ニ依テ總テノ財產ヲ換價シテ之ヲ配當スルヨリハ讓歩ヲシテ、和解ヲシテ、サウシテ其ノ破産狀態ノ處理仕末ヲ付ケテ行クト云フコトガ雙方便宜デアラウト云フノアリマス、茲ニ強制和議ト云フコトガ起ルノデアリマス、其強制和議ハ固ヨリ債権者集會ノ決議ト云フモノガ其本ヲナス、其決議ヲ求ムルハ結局破産者カラ求メル、債権者ノ集會ニ於テ決議シテ、サウシテ裁判所ガ認可シテ茲ニ強制和議ト云フモノガ出来上テ、破産手續ガ之ヲ以テ終結スルト云フノガ、此ノ強制和議ニ關スル規定デアリマス、ソレカラモウ一ツハサウ云フ強制和議ヲセズニ破産ヲ進行シテ居ル際ニ、破産ハ之テ止メテシマハウ、却テ損害ニナル故ニ強制和議ヲスルコトモ出来ナイ狀態デアルカラ、破産ハ免ニ角一旦止メテシマハウト云フコトヲ、債権者集會ノ手續デアリマス、之ニ伴フ諸般ノ事柄ガアリマス、ケレドモ大部分多數ノ箇條ニ亘ツテ居リマスカラ、一々申上ゲルコト更ニ破産ヲ廢止スルト云フコトデ、此ノ破産手續ヲ終ル途モ別ニ開イテアル、是ダケガ大體其ノ通常破産ニ於ケル所ノ手續デアリマス、之ニ伴フ諸般ノ事柄ガアリマス、ケレドモ大部分多數ノ箇條ニ亘ツテ居リマスカラ、一々申上ゲルコトハ却テ煩ニ堪ヘマセヌカラ、大體ノ説明トシテハ左様ナコトニ止メテ置キマス、然ニ此制度ハ餘程厳格ヲ必要トスルガ爲メニ、又債権者ノ數ガ非常ナモノアルガ爲メニ、極メテニ債権者集會ヲ開イタリ、色トノ手續ヲスルト云フコトハ却テ複雜ニアラウト云フノデ、是ガ全ク現行法ニナイト小サイ破産ノ制ヲ新タニ設ケテ居ル、次第デアリマス、此ノ小破産ト云フモノハ詰リ金額一万圓、破産財團ノ額一万圓ニ満タサルト云フコトヲ標準ト致シマシテ、小破産ノ手續ヲ致スコトニナルノアリマス、小破産ノ手續ハ債権者ノ集會ヲ度ニ開クト云フヤウナコトモ止メル、勿論重要ナコトニ

手續ニ依ラズシテ茲ニ和議ヲシテ事ヲ纏メヤウト云フコトニ  
ナツタ爲ニ協定和議が出來上ル、然ニ一旦破産ニナツテシ  
マフト云フト、甚ダ其債務者ト云フモノガ不利ノ地位ニ立  
ツ、不名譽ノ地位ニ立ツ、其時身分上ニ制限ヲ受ケルト云  
フ關係カラ實際社會ニ於キマシテモ、破産ニ瀕スル債務者ト  
債權者ガ、相集テ茲ニ財產整理ヲスルト云フコトハ澤山實例  
ガアル、所ガアノ財產整理ト云フコトハ、何等カノ法規ガナイト云  
云フト、債務者多數ノ中ニ唯一人ノ債權者、而カモ僅カニ小  
額ナ債權ヲ有スルモガ異議ヲ言ウテモ其ノ財產整理ノ契約  
ト云フコトハ出來ナイ、其爲メニハ一方ニハ破産ノ申立ヲスル、  
而シテ脅カス、整理ハ出來ナイト云フガ爲ニ、若シ是ガ和議ガ  
出來ナラハ、整理ガ出來タナラバ破産セズシテ濟ムラシイ所ノ  
債務者モ、遂ニ破産者トナツテ仕舞フト云フヤウナ例ニ於テ少  
クナイノデ、ソレデ此ノ和議法案デハ、破産ノ狀態ニ陥ルタ所ノ  
債務者カ、悲境ニ陥ル所ノ債務者ガ、自分カラ和議ヲ裁  
判所ヘ請求スルコトガ出來ル、サウスルト裁判所ハ債權者  
ヲ呼出シ、其他諸般ノ手續ヲ致シテ茲ニ和議ノ途ニ進メル、  
其和議ハ何處デ出來上ルカト云フト、是モ矢張リ債權者集  
會ニ於テ出來ル、債權者集會ハ要スルニ決議ヲ以テ此和議ヲ  
ヲ定メル、即チ財產整理ノ途ニ付テ一人ノ反對者ガアレバソ  
レガ出來ナイノヲ防グ意味ニ於テ單純ナ多數決デハアリマス  
又、ケレドモ特別ノ多數決ヲ以テ債權者ノ集會ニ於テ和議ヲ  
決定スル、サウスレバ其債務者ガ破産者トナラヌシテ濟ム、而  
シテ和議ノ手續中ハ債權者ハ破産ノ申立ヲスルコトガ出來ナ  
イ、併ナガラ是ガ不當ノ和議ヲ申出デ結局和議ガ出來ナイ、  
唯徒ニ破産ヲ免カルル爲ニ和議ノ方法ヲ講ズルト云フ奸  
策ノ無イト云フコトニモ限りマセヌカラ、若シ和議成ラズシテ  
バ破産者トスル、和議成レバ破産者トナラズシテ濟ムト云  
フコトガ、大體此案ノ趣意デアリマス、第一條ニ此和議ハ  
破産防止ノ爲ニスル強制和議デアルト云フコト明ニ致  
シマシテ、之ニ依テ此ノ悲境ニ陥ル所ノ債務者ガ、財  
產整理ヲスルコトガ出來タナラバ、餘程私ハ實際經濟上ニ  
於テモ有益ニアラウト云フノデ、是レモ喫太利ノ新シク出來  
マシタ所ノ、矢張リ和議法、譯スレバ、其ノ和議法ヲ參照  
シテ此案ヲ定メタ次第アリマス、其ノ和議ニ付テハ矢張リ  
茲ニ一ツ罰則規定致シマシタ、大體此案ハ斯ウ云フモノダト  
云フコトノ御説明ヲスルダケニ止マシテ、其ノ内容ニ至リ  
マシテハ更ニ御要求ニ應ジマシテ説明ヲ致シタイト存ジマス  
○委員長(伯爵松平賴壽君) 皆サンニヨント御説リヲ  
致シタインデアリマスガ、此法案ハナカーネ長イ法案デアザイ  
マスシ、餘程御質問モ多カラウト存ジマスノデ、特別委員ノ  
中ニ小委員デモ作りマシテ、詳シク御説明ヲ承クラドンナ

モノカ、小委員ノ御方デ略、御決定ニナリマシタノヲ特別委員ニ掛けマシテ、其時ニ又特別委員皆サン方ノ一般ノ御質問ヲナサッテ、御決定ニナックラドウダラウト存ジマスガ、之ヲ御説リ致シマス如何デゴザイマス

○子爵酒井忠亮君 異議ナシ

○委員長(伯爵松平頼壽君) 皆御異議ガ無イヤウニ存ジマス、ソレカラ小委員ハ下ウ云フヤウニ致シマシタラ宣シウゴザイマセウカ

○子爵酒井忠亮君 小委員ノ數ハ如何デセウ、七名クラ井ニ願ッテ、其内一名ハ甚ダ御苦勞サマデゴザイマスガ、委員長ニ御交リヲ願ッテ、六名ダケ委員長御指名ニ願ヒタイト思ヒマスガ、如何デゴザイマス

○委員長(伯爵松平頼壽君) 皆サン如何デゴザイマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵松平頼壽君) ソレナラバ僭越ナガラ私ヨリ御指名ヲ申上ダマス、松室君、河村君、矢吹男爵、藤田四郎君、加太君、管原君、此六名ノ御方ニ御願ヲ致シマス、私ト丁度七名ニナリマス、本日ハ是デ閉會ヲ致シマシテ、小委員ハ改メテ日ヲ申上ダマスデゴザイマス

午後一時五分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵松平  
副委員長 河村 賴壽君  
委員

男爵小澤 武雄君  
子爵酒井 忠亮君  
子爵伊東 讓三郎君  
子爵板倉 祐弘君  
男爵若王子 勝憲君  
松室 致君  
文健君  
男爵長松 篤棐君  
男爵矢吹 省三君  
藤田 邦憲君  
加太 四郎君  
橋本 通敬君  
管原 鈴木 捜兵衛君  
圭三郎君  
寅二郎君  
賴三郎君

政府委員

司法次官

山内 確三郎君

司法省民事局長

池田 寅二郎君

司法省刑事局長

林 賴三郎君

大正十一年一月二十八日印刷

大正十一年一月二十九日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局